

岐阜県レッドデータブック改訂版の個別解説欄の構成

【選定種の個別解説】

(1) カテゴリー

岐阜県レッドリストに準じて記載しました。

(2) 和名

岐阜県レッドリストに準じて記載しました。

(3) 学名

岐阜県レッドリストに準じて記載しました。

(4) 分類

岐阜県レッドリストに準じて記載しました。

なお、(2)～(4)については部会ごとに以下の文献に基づき整理しました。

<哺乳類>

原則として「日本の哺乳類」(東海大学出版会,2008)に準拠し、新しい知見を加え整理しました。

<鳥類>

「日本鳥類目録 改訂第6版」(日本鳥学会,2000)に準拠しました。

<両生類・爬虫類>

原則として「日本産爬虫両生類標準和名」(日本爬虫両棲類学会,2008)に準拠し、下記の文献を参考に新しい知見を加え整理しました。

- ・ Atsushi Tominaga and Masafumi Matsui : Taxonomic Status of a Salamander Species Allied to *Hynobius naevius* and a Reevaluation of *Hynobius naevius* yatsui Oyama,1947(Amphibia,Caudata). Zool. Sci. 25,107-114(2008).

<魚類>

原則として「日本産魚類検索 全種の同定 第二版」(中坊編,2000)および2007年の環境省版レッドリストに準拠し、新しい知見を加え整理しました。

<昆虫類>

原則として「日本産野生生物目録—本邦産野生動植物の種の現状—(無脊椎動物編Ⅱ)」(環境省編,1995)に準拠し、新しい知見を加え整理しました。

<貝類>

原則として「日本産野生生物目録—本邦産野生動植物の種の現状—(無脊椎動物編Ⅲ)」(環境省編,1998)に準拠し、下記の文献を参考に新しい知見を加え整理しました。

- ・ 早瀬善正・木村昭一他 5名(2008)岐阜県揖斐川町春日における陸産貝類相調査. かきつばたNo.3 3 : 1-9. 名古屋貝類談話会会誌
- ・ 近藤高貴(2008)日本産イシガイ目貝類図譜. 日本貝類学会特別出版物第3号 : 日本貝

類学会

・ 湊 宏(1988)日本陸産貝類総目録

(5) 選定理由

生息環境、分布状況、捕獲・採取圧の3つの観点から、該当する選定理由を記載しました。

(6) 形態の特徴

種の概略の大きさ及びわかりやすい外形的な特徴がある場合は、その特徴を簡潔に記載しました。

県内に類似種があり、その種の分布が限局的でない場合は、記述できる範囲内でその区別点を記載しました。

(7) 生息環境

生息環境について簡潔に記載しました。できるだけ具体的な環境を記載しましたが、採取・捕獲されるおそれがある種については記載に配慮しました。

(8) 生態

生態について簡潔に記載しました。また、調査などにおいてその時期の参考となるよう、その種の確認に適した時期の情報を盛り込みました。

(9) 分布状況

日本、国外、岐阜県の順で簡潔に記載しました。分布が複数の地域にあり書ききれない場合は、主要な分布地域を主体的に記載しました。

日本固有種など国内あるいは国内のごく一部地域に限定して分布していることが明らかな種については、文章の先頭にその状況を記載しました。

(10) 減少要因（危険要因）

減少要因を記載しました。複数の減少要因がある場合は、記述できる範囲内で列記しましたが、記述しきれない場合は、最も要因として高いものに限って記載しました。

情報不足にランクされる種については、項目名称を「危険要因」とし、推定される減少要因を記載しました。

(11) 保全対策

保全対策を記述できる範囲内で可能な限り具体的に記載しました。

情報不足にランクされる種については、未記載としました。

(12) 特記事項

絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律指定種、国及び県の天然記念物指定（市町村指定は除く）などがあれば、その名称などを記載しました。

岐阜県に関連したトピックがあれば、その内容を簡潔に記載しました。

(13) 参考文献

上記の内容を記載するのに使用した参考文献を記載しました。なお、分布図作成のために使用した文献は別に掲載しました。

【写真】

- 種の特徴ができるだけわかりやすい写真を掲載しました。生態写真を主体とし、生態写真がない場合は標本の写真としました。なお、未掲載の種もございます。
- 撮影場所について、特に記載のない種は、県内で撮影されているものです。
- 他県産の標本などについては、撮影場所として捕獲した都道府県名を掲げております。

【分布図】

- 「標準地域メッシュ」に基づくメッシュにより分布情報を表示しました。メッシュの大きさは2次メッシュ（一つのメッシュが国土地理院発行の1/25000地形図1図葉に相当する大きさ）としました。
- メッシュは、その種の分布の変遷がわかりやすいように情報の新旧に応じて色分けすることとしました。色分けの年代別については、1990年以前のデータ及び年代が不明なデータを青、1991年から2000年までのデータを赤、2001年以降のデータを緑として示しました。なお、メッシュを色分けするのは、そのメッシュ全域に確認記録があるということではなく、メッシュ内のどこか一部に確認記録があるということです。
- 生息域を表示することが好ましくないと判断される種については、非公表とし、特定の場所について表示すべきでない種については該当するメッシュを表示しないこととしました。